

令和 3 年度

事業報告書  
会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和 3 年度

# 事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

# 令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

本年度の令和4年3月31日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

## 1. 会員

令和4年3月31日現在の会員数は次のとおりである。

会員数	23 会員
・地区乗馬倶楽部振興会	20 会員
・目的賛同団体	3 団体

## 2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規定に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年比7乗馬施設の増加(9乗馬施設増、2乗馬施設減)、乗用馬登録は前年比21頭の増加、乗馬指導者は前年比58名の減少であった。

乗馬施設	290 施設	【別表1】
乗用馬	5,224 頭 (令和3年4月末時点の登録数)	
乗馬指導者	1,844 名 (上級B 135・W 12名、中級B 231・W 24名、初級B 1,367・W 75名)	

【別表1】 令和3年度 登録乗馬施設数の推移

	地 区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	令和3年度				(参考) 令和 2年度
			乗馬 施設数	入会	退会	(うち 休会)	
1.	北海道	北海道 21	21				21
2.	東 北	青森 2 岩手 2 山形 2 宮城 5 秋田 1 福島 1	13	1	1		13
3.	北関東	栃木 10 茨城 16 群馬 5	31	1			30
4.	埼 玉	埼玉 13(1)	13	1		(1)	12
5.	千 葉	千葉 29	29		1		30
6.	東 京	東京 5	5				5
7.	神奈川	神奈川 20	20				20
8.	北 陸	新潟 2 富山 0 石川 2 福井 2	6				6
9.	長 野	長野 9	9				9
10.	山 梨	山梨 11	11 <sup>**</sup>	1			9
11.	静 岡	静岡 18	18 <sup>**</sup>	1			18
12.	東 海	愛知 10(1) 岐阜 4	14	1		(1)	13
13.	東近畿	三重 8 奈良 5	13	1			12
14.	京 阪	滋賀 6 京都 5 大阪 9 和歌山 2	22	1			21
15.	兵 庫	兵庫 9	9	1			8
16.	中 国	岡山 5 広島 9 鳥取 1 島根 1 山口 4	20				20
17.	四 国	香川 2 愛媛 2 高知 1 徳島 1	6				6
18.	北部九州	福岡 12(1) 佐賀 1	13			(1)	13
19.	中九州	大分 4 熊本 5 長崎 1	10				10
20.	南九州	宮崎 1 鹿児島 4 沖縄 2	7				7
	合 計		290	9	2	(3)	283

※静岡地区より山梨地区へ1クラブ移転

### 【新規登録乗馬クラブ】9件

Bell Stable	(東北地区	: 宮城県)
株式会社小山乗馬クラブ大沼	(北関東地区	: 栃木県)
つばさ乗馬苑	(埼玉地区	: 埼玉県)
合同会社ホースファームポラリス	(山梨地区	: 山梨県)
北駿ホースヴィラ	(静岡地区	: 静岡県)
笠松ライディングスクール	(東海地区	: 岐阜県)
海の乗馬倶楽部エルカバージョ	(東近畿地区	: 三重県)
株式会社湖南馬事センター	(京阪地区	: 滋賀県)
カナディアンキャンプ乗馬クラブ神戸	(兵庫地区	: 兵庫県)

### 【退会乗馬クラブ】2件

乗馬クラブアクシス	(東北地区	: 青森県)
殿山ガーデンホースクラブ	(千葉地区	: 千葉県)

### 【休会乗馬クラブ】3件

Y. S. K. ライディングスクール [1年目]	(埼玉地区	: 埼玉県)
尾張旭ライディングスクール [1年目]	(東海地区	: 愛知県)
上野乗馬苑 [1年目]	(北部九州地区	: 福岡県)

## 3. 諸会議等

令和3年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

#### 《総会の開催》

定時社員総会	6月22日
議題	
	1. 令和2年度事業報告
	2. 令和2年度会計決算報告
	3. 理事の選任
	4. 監事の選任

#### 《理事会の開催》

第1回理事会	6月1日
議題	
	1. 令和3年度定時社員総会に付議する議案について
	2. 令和3年度定時社員総会の開催について
	3. 常勤役員の報酬月額について
第2回理事会	令和4年3月7日
議題	
	1. 令和4年度事業計画・収支予算について
	2. 規程の改正について

#### 《その他の会議等の開催》

常務理事会	6月1日、令和4年3月7日
地区会長会議	令和4年3月8日

## 4. 人事関係

令和3年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選	任	理	事	上野 儀治	(6月22日)
	〃	理	事	上手 邦夫	(6月22日)
	〃	理	事	中島 信行	(6月22日)
	〃	監	事	野中 亮一	(6月22日)
退	任	理	事	横田 貞夫	(6月22日)
	〃	理	事	永峰 一弘	(6月22日)
逝	去	監	事	杉本 修	(5月23日)

## 5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

### (1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

日本中央競馬会（以下「JRA」という。）からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、事業の実施件数は83件であった。

なお、事業推進委員会を令和4年2月17日に開催した。

### (2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRAからの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらい、心身の健全な発展に寄与する事業を実施した。実施件数は現地訪問型82件、乗馬施設招致型64件、合計146件であった。

なお、被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業推進委員会を12月15日に開催した。

### (3) 乗馬技能認定事業

#### ① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は10,741名、合格者10,409名であり、審査回数は4,381回、技能認定審査実施乗馬施設数は164施設であった。

【別表2】

【別表2】令和3年度 乗馬技能認定結果

(単位：名)

級 / 年度		令和3年度	令和2年度	前年度比
審査回数		4,381	3,168	138.3%
乗馬クラブ数		164	157	104.5%
5級	申請者数	5,891	4,653	126.6%
	合格者数・率	5,885 99.9%	4,649 99.9%	126.6%
ウエスタン5級	申請者数	65	28	232.1%
	合格者数・率	65 100.0%	27 96.4%	240.7%
4級	申請者数	2,275	1,931	117.8%
	合格者数・率	2,262 99.4%	1,921 99.5%	117.8%
ウエスタン4級	申請者数	21	19	110.5%
	合格者数・率	21 100.0%	17 89.5%	123.5%
3級	申請者数	1,373	1,098	125.0%
	合格者数・率	1,197 87.2%	997 90.8%	120.1%
ウエスタン3級	申請者数	4	17	23.5%
	合格者数・率	4 100.0%	16 94.1%	25.0%
エンデュランス 3級	申請者数	28	17	164.7%
	合格者数・率	28 100.0%	17 100.0%	164.7%
3級障害	申請者数	249	188	132.4%
	合格者数・率	232 93.2%	178 94.7%	130.3%
2級障害	申請者数	167	127	131.5%
	合格者数・率	162 97.0%	126 99.2%	128.6%

級 / 年度		令和3年度		令和2年度		前年度比
2級馬場	申請者数	495		434		114.1%
	合格者数・率	421	85.1%	363	83.6%	116.0%
ウエスタン2級	申請者数	2		4		50.0%
	合格者数・率	2	100.0%	4	100.0%	50.0%
エンデュランス 2級	申請者数	5		5		100.0%
	合格者数・率	5	100.0%	4	80.0%	125.0%
1級障害	申請者数	10		10		100.0%
	合格者数・率	5	50.0%	7	70.0%	71.4%
1級馬場	申請者数	156		103		151.5%
	合格者数・率	120	76.9%	87	84.5%	137.9%
ウエスタン1級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
エンデュランス 1級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
合計	申請者数	10,741		8,634		124.4%
	合格者数・率	10,409	96.9%	8,413	97.4%	123.7%

なお、技能認定1・2級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格B級への移行措置者は521名であった。【別表3】

【別表3】 令和3年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B級移行者数 (単位:名)

技能 認定	障害		馬場		エンデュランス		合計
	1級	2級	1級	2級	1級	2級	
人数	1	220	12	282	0	6	521
	221		294		6		
移行先	B級		B級馬場馬術限定		B級エンデュランス限定		

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として馬との親和性を図るため、また、乗馬技術の向上とポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は353名であった。【別表4】

【別表4】 令和3年度 ポニーライダー登録者数 (単位:名)

級 / 年度	令和3年度	令和2年度	前年度比
5級	171	113	151.3%
4級	80	48	166.7%
3級	64	22	290.9%
2級	22	22	100.0%
1級	16	29	55.2%
合計	353	234	150.9%

(4) 普及乗馬大会

① 全国普及乗馬大会

一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、6月10日～13日の4日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで開催した。

② 地区普及乗馬大会

一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、18地区振興会、1団体会員で開催した。なお、2地区（四国・中九州地区）は、開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(5) 乗馬取扱講習会事業

乗馬の普及を目的とし、一般市民を対象として乗馬の生態、飼育等の講習会を開催した。

4月16日～18日の3日間で、愛媛県今治市において乗馬愛好家や一般市民を対象に、馬の安全な取り扱いについての講習会を開催し、32名が受講した。

また、9月1日～5日の5日間で、北海道標茶町、浜中町、中標津町において安全に馬を取り扱うために必要な基礎馴致や正しい調教方法を学ぶ講習会を開催し、11名が受講した。

(6) 乗馬普及広報事業

乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。

また、本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティや小冊子の配布を行った。

6. 乗馬施設関係事業

(1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財)畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

9乗馬施設へ9件、取得価格総額61,744,100円の乗馬施設再貸付を実施した。 【別表5】

【別表5】令和3年度 (公財)畜産近代化リース協会関係 事業実施状況(新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格(円)	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
(有)成田乗馬倶楽部	ホイールローダー	1	4,180,000	3月12日 5月1日
(有)カナディアンキャンプ乗馬クラブ	フォークリフト	1	2,928,200	5月14日 8月1日
山本乗馬普及所	トラクター	1	4,329,600	7月7日 7月1日
岡山乗馬倶楽部	簡易式覆馬場	1	10,835,000	7月9日 10月1日
(株)ホースブリッジ	ロールベアラ	1	6,050,000	7月13日 9月1日
STABLE HORSE POWER	トレーニングマシン	1	15,062,300	11月2日 12月1日
乗馬クラブメインフィールドズ	ホイールローダー	1	7,073,000	11月12日 令和4年3月1日
ELC ドレツサージュチーム	健康増進機能付馬着	1	1,056,000	11月12日 11月1日
(有)ラ・シュボーシェ	ウォーキングマシン	1	10,230,000	12月3日 12月1日
合計	9施設	9件	61,744,100	

(2) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成20年度から新規の応募は受け付けていない。

(3) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、令和4年3月30日に優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。現在、158クラブが認定されている。

## 7. 乗用馬整備関係事業

(1) 乗用馬防疫推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて事業を行った。

軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のプログラムに基づいて接種が確認された馬4,949頭に対し、予防接種費の補助金を交付した。

なお、登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、9月9日に第1回、令和4年2月21日に第2回「乗用馬防疫推進委員会」を開催した。

(2) 乗馬活動保険推進事業

JRAからの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルによる問題に対処するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額(年間)に対し、乗用馬防疫推進事業におけるワクチン接種馬の保有頭数に応じて補助金を交付した。

(3) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、在来馬保存会、在来馬飼養管理者を対象とした馴致・調教の講習会を行った。

・在来馬飼養管理者集合講習会

会 場：クバカ城跡・荷川取牧場など(沖縄県宮古島市)

日 程：11月20日～23日

全国で在来馬を飼養管理している者ならびに現地で宮古馬を飼育管理している者を対象に初期馴致ならびに基礎調教を指導

参加者：33人(延べ人数)

(4) 馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教推進委員会開催等事業

事業初年度のため、馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業推進委員会を6月23日に開催し、事業の達成目標を確認した。

② 若手後継者による上場馬調教事業

馬産地においてこれまで講習会を受講した者の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選抜された若馬に対し乗用馬として付加価値を向上させ市場に送り出すための馴致調教を行うことと併せて、若手後継者に対して若馬の育成調教技術の習得に取り組んだ。

また、本協会有資格指導者を講師として現地へ派遣し、馴致調教の初期段階における選抜馬の乗用馬市場までの方向性を見極めと馴致調教に関する指導を行った。

続いて、乗用馬市場前の調教仕上げ期に必要な馴致調教の指導のために、本協会有資格者指導者を派遣して現地指導を行った。

### 現地確認事業

遠野地域：6月28日～30日

参加者：3名

十勝地域：7月9日～12日

参加者：4名

根釧地域：7月1日～4日	参加者：3名
現地指導事業	
遠野地域：10月13日～15日、22日～26日	参加者：4名
十勝地域：10月7日～10日	参加者：4名
根釧地域：10月8日～11日	参加者：6名

(5) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業

1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業

JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、子ども・教育に関する講習会等を開催した。

・講習会の開催

- ① 「はたらく馬牧場～SDGsの取り組み～」  
会 場：大宇陀健民運動場（奈良県宇陀市）  
日 程：5月21日～22日  
参 加 者：70名（延べ人数）
- ② 「スポーツ流鏝馬による地域興しに関するワークショップ」  
「流鏝馬指導者養成セミナー」  
会 場：十和田乗馬倶楽部他（青森県十和田市）  
日 程：6月2日～4日  
参 加 者：41名（延べ人数）
- ③ 「リーダー・サイドウォーカー養成講習会」  
会 場：公益社団法人神戸乗馬倶楽部（兵庫県神戸市）  
日 程：7月10日～11日  
参 加 者：56名（延べ人数）
- ④ 「ポニーを使用した馬の動物介在活動」  
会 場：大阪府立農芸高等学校（大阪府堺市）  
日 程：7月16日  
参 加 者：50名
- ⑤ 「ホースセラピーin栗島」  
会 場：あわしま牧場（新潟県岩船郡栗島浦村）  
日 程：7月31日～8月1日  
参 加 者：74名（延べ人数）
- ⑥ 「健康を学ぶ大学生ホースセラピーを理解する」  
会 場：福井ホースパーク（福井県福井市）  
日 程：9月18日  
参 加 者：17名
- ⑦ 「馬の多様な利活用を推進するための講習会・牧場発表会」  
会 場：あわしま牧場他（新潟県岩船郡栗島浦村）  
日 程：9月25日～26日  
参 加 者：92名（延べ人数）
- ⑧ 「ホースセラピー講習会」  
会 場：岐阜県立岐阜農林高等学校（岐阜県本巣郡北方町）  
日 程：10月29日～30日  
参 加 者：73名（延べ人数）
- ⑨ 「法政大学における引退競走馬等を利活用したウェルネス乗馬講習会」  
会 場：法政大学多摩キャンパス（東京都町田市）

日 程：10月30日  
参加者：20名

⑩ 「野村高校ポニーの多様な活用を考える」  
会 場：愛媛県立野村高等学校（愛媛県西予市）  
日 程：11月12日～15日  
参加者：40名（延べ人数）

⑪ 「馬と共にリラクゼーション！」  
会 場：大宇陀健民運動場（奈良県宇陀市）  
日 程：11月20日～21日  
参加者：43名（延べ人数）

・事業推進委員会の開催  
（第1回：3月26日）、第2回：9月29日、第3回：12月27日

2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動を支援するための事業

JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、海外より講師を招いての講習会を開催する事業であるが、新型コロナウイルス感染症のため、講習会の開催を見送り、事業推進委員会を実施した。

・事業推進委員会の開催  
（第1回：2月12日）、第2回：6月7日、第3回：12月27日

3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内外の講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を開催する事業であるが、「海外講師の講習会」は、新型コロナウイルス感染症のため、講師の渡航が困難なため中止とした。また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国20大会で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

・（国内講師）講習会の開催

「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」

① 会 場：乗馬クラブスタリオンステーブル（香川県綾歌郡）  
日 程：5月11日～13日（中止）

② 会 場：三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）  
日 程：5月25日～27日（中止）

③ 会 場：福井ホースパーク（福井県福井市）  
日 程：7月13日～15日  
参加者：35名（延べ人数）

④ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：9月14日～16日（中止）

⑤ 会 場：ほくせい乗馬クラブ（北海道札幌市）  
日 程：9月21日～23日（中止）

⑥ 会 場：乗馬クラブエクセラ（秋田県大仙市）  
日 程：10月12日～14日  
参加者：49名（延べ人数）

⑦ 会 場：中島トニアシュタール（茨城県東茨城郡）  
日 程：10月26日～28日  
参加者：90名（延べ人数）

- ⑧ 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）  
日 程：11月30日～12月2日  
参加者：54名（延べ人数）

・引退競走馬所有者奨励競技会の開催

- ① 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）  
日 程：5月2日  
申込数：障害馬術 26頭
- ② 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：5月4日  
申込数：障害馬術 34頭
- ③ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：6月12日・13日  
申込数：馬場馬術 新馬課目 9頭 L1課目 16頭
- ④ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：6月13日  
申込数：障害馬術 35頭
- ⑤ 会 場：南相馬市馬事公苑（福島県南相馬市）  
日 程：6月20日  
申込数：障害馬術 30頭
- ⑥ 会 場：乗馬クラブクレインオリンピックパーク（奈良県天理市）  
日 程：7月9日  
申込数：馬場馬術 新馬課目 13頭 L1課目 13頭
- ⑦ 会 場：三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）  
日 程：7月11日  
申込数：障害馬術 40頭
- ⑧ 会 場：東関東ホースプロジェクト（千葉県八街市）  
日 程：7月18日  
申込数：障害馬術 47頭
- ⑨ 会 場：蒜山ホースパーク（岡山県真庭市）  
日 程：8月29日  
申込数：障害馬術 36頭
- ⑩ 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：10月9日  
申込数：障害馬術 22頭
- ⑪ 会 場：福井ホースパーク（福井県福井市）  
日 程：10月10日  
申込数：障害馬術 29頭
- ⑫ 会 場：中島トニアシュタール（茨城県東茨城郡）  
日 程：10月16日  
申込数：馬場馬術 新馬課目 25頭 L1課目 15頭
- ⑬ 会 場：熊本県立菊池農業高等学校（熊本県菊池市）  
日 程：10月17日  
申込数：障害馬術 29頭
- ⑭ 会 場：岡山乗馬倶楽部（岡山県加賀郡）  
日 程：10月23日・24日  
申込数：馬場馬術 新馬課目 21頭 L1課目 13頭

- ⑮ 会 場：仙北市馬術競技場（秋田県仙北市）  
日 程：10月24日  
申 込 数：障害馬術26頭
- ⑯ 会 場：水口乗馬クラブ（滋賀県甲賀市）  
日 程：10月31日  
申 込 数：障害馬術52頭
- ⑰ 会 場：愛知県森林公園馬術競技場（愛知県尾張旭市）  
日 程：11月14日  
申 込 数：障害馬術42頭
- ⑱ 会 場：香川県立農業経営高等学校（香川県綾歌郡）  
日 程：11月20日  
申 込 数：障害馬術26頭
- ⑲ 会 場：J R A東京競馬場（東京都府中市）  
日 程：12月19日  
申 込 数：馬場馬術12頭（各馬場馬術4地域大会の上位馬3頭を集めたファイナル）
- ⑳ 会 場：J R A東京競馬場（東京都府中市）  
日 程：12月19日  
申 込 数：障害馬術28頭（各障害馬術14地域大会の上位馬2頭を集めたファイナル）

※20 大会合計 639 頭

・事業推進委員会の開催

（第1回：2月9日）、第2回：新型コロナウイルス感染症のため中止、第3回：12月20日

4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業

JRAの助成を受け、すでに実施されている馬の多様な利活用等に関する取組みの安定的な運営・発展を支援し、又は将来的に馬関連事業の参考事例となるような取組みや馬産業の人材養成等に資するような取組みを支援する事業として行った。

本年度は支援対象事業検討委員会で対象となった43事業（うち1事業は新型コロナウイルス感染症拡大のため辞退）に対しての支援を行った。

・支援対象事業検討委員会

（第1回：1月22日、第2回：3月26日）、第3回：6月30日、第4回：9月29日

第1回：令和4年1月28日

## 8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

(1) 乗馬指導者養成講習会

① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門7会場、ウエスタン部門2会場で実技講習会を開催した。なお、政府による緊急事態宣言により数会場、予定していた地域を変更して実施した。また、新型コロナウイルス感染症のため座学講習はリモートにてブリティッシュ部門を4回、ウエスタン部門を1回実施した。

【別表6】

② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級の実技講習を実施し、ウエスタン部門中級は初級と合同で西日本会場（東日本申込なし）にて実施した。なお、政府による緊急事態宣言により数会場、予定していた地域を変更して実施した。また、新型コロナウイルス感染症のため座学講習はリモートにてそれぞれ実施した。

【別表6】

(2) 乗馬指導者資格認定

① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級の学科試験を10月19日に全国7ヵ所において一斉に実施し、中級・上級の実技・面接試験は東西2ヵ所に分け、東日本地域は11月16日山梨県馬術競技場において、西日本地域は11月9日三木ホースランドパークにおいて開催した。

ウエスタン部門の初級・中級においても東西2ヵ所（中級は西のみ）に分け、10月21日東日本地域はノーザンホースパークにおいて、西日本地域は福岡県馬術競技場において開催した。

また、ウエスタン部門の上級においては、申込者がいないため実施せず。【別表6】

② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成について、新型コロナウイルス感染症のため10月4日にリモートを用いて開催した。

また、次年度の乗馬指導者資格認定の実施方法について検討する委員会は新型コロナウイルス感染症のため令和4年3月22日に書面にて提案された事項について決議した。

③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため、6月15日にJRA新橋分館（WEB会議システム併用）において実務研修を開催した。

④ 合否判定会議

12月7日にJRA新橋分館5Fにおいて乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

<ブリティッシュ> 122名合格（初級101名、中級12名、上級9名）

<ウエスタン> 5名合格（初級4名、中級1名、上級0名）

(3) 乗馬指導者巡回指導

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

【別表6】 令和3年度乗馬指導者養成講習会、資格認定試験

受講者数・・・ 221名

受験者数・・・ 207名

合格者数・・・ 127名

(単位：名)

区分	地域	会場	養成講習会			資格認定試験					
			期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率	
初級	北海道	ノーザンホースパーク 講習会：ほくせい乗馬クラブ	6/30～7/1	12	12	10	9	6	3	66.7%	
	東北	馬っこパークいわて	6/23～6/24	14	14	14	14	6	8	42.9%	
	関東	中島トニアシュタール	9/6～9/7	82	76	70	69	38	31	55.1%	
	北陸・中部	御殿場市馬術・スポーツセンター	7/7～7/8	22	21	24	24	16	8	66.7%	
	関西	鶴見緑地乗馬苑	7/6～7/7	38	38	35	33	22	11	66.7%	
	中国・四国	エヒメ乗馬クラブ	7/13～7/14	8	8	7	7	5	2	71.4%	
	九州	福岡県馬術競技場	6/22～6/23	13	12	13	13	8	5	61.5%	
	小計				189	181	173	169	101	68	59.8%
	ウエスタン	東日本	ノーザンホースパーク 講習会：ほくせい乗馬クラブ	6/30～7/1	9	9	9	8	2	6	25.0%
		西日本	福岡県馬術競技場 講習会：カテ・インキャン 乗馬クラブ	6/29～6/30	6	6	5	5	2	3	40.0%
小計				15	15	14	13	4	9	30.8%	
初級合計				204	196	187	182	105	77	57.7%	
中級	ブリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	8月31日	9	8	8	8	6	2	75.0%
	ブリティッシュ	西日本	三木ホースランドパーク 講習会：福井ホースパーク	9月7日	9	7	7	7	6	1	85.7%
	小計				18	15	15	15	12	3	80.0%
	ウエスタン	東日本	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		西日本	福岡県馬術競技場 講習会：カテ・インキャン 乗馬クラブ	6/29～6/30	1	1	1	1	1	0	100.0%
	小計				1	1	1	1	1	0	100.0%
中級合計				19	16	16	16	13	3	81.3%	
上級	ブリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	8月31日	6	5	6	6	6	0	100.0%
	ブリティッシュ	西日本	三木ホースランドパーク 講習会：福井ホースパーク	9月7日	4	4	3	3	3	0	100.0%
	小計				10	9	9	9	9	0	100.0%
	ウエスタン	東日本	山梨県馬術競技場	8月31日	1	0	0	0	0	0	
		西日本	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小計				1	0	0	0	0	0	
上級合計				11	9	9	9	9	0	100.0%	
合計				234	221	212	207	127	80	61.4%	

注)

- ウエスタン中級の東日本、ウエスタン上級は申込者がいないため、開催せず。
- 初級乗馬指導者資格認定試験は、ブリティッシュ10月19日、ウエスタン（中級含む）10月21日に実施。
- ブリティッシュ中・上級乗馬指導者資格認定試験は、学科10月19日、実技・面接については東日本が11月16日、西日本は11月9日に実施。

#### (4) 乗馬指導者競技会

##### ① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため6月10日～13日の4日間、御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）で、ブリティッシュ部門のみ開催した。

##### ② 各地域の乗馬指導者競技会

ブリティッシュ部門を5地域において一般の競技会と併せて実施し、2地域は新型コロナウイルス感染症のため中止とした。ウエスタン部門は山梨県馬術競技場にて実施した。【別表7】

【別表7】 令和3年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催月日	会場
北海道	10月9日～10日	ノーザンホースパーク
東北	10月23日～24日	仙北市馬術競技場
関東	10月15日～16日	中島トニアシュタール
北陸中部	10月22日～23日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	11月22日、28日	水口乗馬クラブ
中国四国	新型コロナウイルス感染症のため中止	エヒメ乗馬クラブ
九州	新型コロナウイルス感染症のため中止	—
ウエスタン	9月11日	山梨県馬術競技場

#### (5) 乗馬指導者資格更新講習会

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、5地域において馬の運動心理学・安全対策・指導法・スポーツインテグリティ等について講習会を開催した。

- ・東北地域（宮城県仙台市／仙都会館）  
実施日：令和4年2月1日 受講者10名
- ・関東地域（東京都世田谷区／東京農業大学）  
実施日：令和4年2月15日 受講者75名
- ・北陸中部地域（愛知県名古屋市／法研中部久屋大通店）  
実施日：令和4年2月8日 受講者17名
- ・中国四国地域（広島県広島市／RCC文化センター）  
実施日：令和4年1月25日 受講者9名
- ・九州地域（福岡県福岡市／エイムアテイン博多駅前）  
実施日：令和4年2月22日 受講者27名

#### 9. 乗馬クラブ等活動特別支援事業

JRAの助成を受け、新型コロナウイルス感染症等の影響による社会情勢の変化により、資金が困窮している乗馬クラブ等に対しその経費等を助成する事業を行った。募集に対し申請のあった登録乗馬施設28（延べ273）件、未登録乗馬施設72件に対し補助金を交付した。

補助金交付のための事業推進委員会を5月11日に開催した。（第1回3月18日開催）

##### 〔特記事項〕

令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和3年度も政府より発令された感染症対策の基本方針等を踏まえた上で、事業の一部を中止した。

令和 3 年度

# 会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	354,365,553	340,868,809	13,496,744	
現金	108,829	51,521	57,308	
普通預金	294,256,724	280,817,288	13,439,436	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	3,137,796	3,722,052	△ 584,256	
仮払金	239,294,610	234,647,649	4,646,961	
貯蔵品	7,273,632	3,058,113	4,215,519	
<b>流動資産合計</b>	<b>604,071,591</b>	<b>582,296,623</b>	<b>21,774,968</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1)特定資産</b>				
退職給付引当資産	37,023,317	32,788,334	4,234,983	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	42,720,042	42,040,857	679,185	
ソフトウェア	5,133,334	6,893,334	△ 1,760,000	
<b>特定資産合計</b>	<b>100,876,693</b>	<b>97,722,525</b>	<b>3,154,168</b>	
<b>(2)その他固定資産</b>				
備品	2,669,233	2,542,563	126,670	
ソフトウェア	54,183	226,262	△ 172,079	
電話加入権	372,008	372,008	0	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>3,095,424</b>	<b>3,140,833</b>	<b>△ 45,409</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>103,972,117</b>	<b>100,863,358</b>	<b>3,108,759</b>	
<b>資産合計</b>	<b>708,043,708</b>	<b>683,159,981</b>	<b>24,883,727</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	9,474,644	6,693,011	2,781,633	
仮受金	395,865,412	400,820,117	△ 4,954,705	
預り金	555,297	1,223,640	△ 668,343	
賞与引当金	4,743,223	4,527,297	215,926	
<b>流動負債合計</b>	<b>410,638,576</b>	<b>413,264,065</b>	<b>△ 2,625,489</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	37,023,317	32,788,334	4,234,983	
<b>固定負債合計</b>	<b>37,023,317</b>	<b>32,788,334</b>	<b>4,234,983</b>	
<b>負債合計</b>	<b>447,661,893</b>	<b>446,052,399</b>	<b>1,609,494</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>	<b>5,133,334</b>	<b>6,893,334</b>	<b>△ 1,760,000</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 5,133,334)	( 6,893,334)	(△ 1,760,000)	
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>255,248,481</b>	<b>230,214,248</b>	<b>25,034,233</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 58,720,042)	( 58,040,857)	( 679,185)	
<b>正味財産合計</b>	<b>260,381,815</b>	<b>237,107,582</b>	<b>23,274,233</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>708,043,708</b>	<b>683,159,981</b>	<b>24,883,727</b>	

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
<b>I 資産の部</b>						
<b>1. 流動資産</b>						
現金預金	153,270,636	169,352,615	31,742,302		354,365,553	
現金	0	0	108,829		108,829	
普通預金	153,270,636	109,352,615	31,633,473		294,256,724	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	3,072,553	0	65,243		3,137,796	
仮払金	238,000,000	0	1,294,610		239,294,610	
貯蔵品	7,273,632	0	0		7,273,632	
<b>流動資産合計</b>	<b>401,616,821</b>	<b>169,352,615</b>	<b>33,102,155</b>	<b>0</b>	<b>604,071,591</b>	
<b>2. 固定資産</b>						
<b>(1)特定資産</b>						
退職給付引当資産	30,359,120	2,961,866	3,702,331		37,023,317	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	42,720,042	0		42,720,042	
ソフトウェア	5,133,334	0	0		5,133,334	
<b>特定資産合計</b>	<b>35,492,454</b>	<b>45,681,908</b>	<b>19,702,331</b>	<b>0</b>	<b>100,876,693</b>	
<b>(2)その他固定資産</b>						
備品	2,336,562	147,854	184,817		2,669,233	
ソフトウェア	44,431	4,334	5,418		54,183	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,652,559</b>	<b>193,109</b>	<b>249,756</b>	<b>0</b>	<b>3,095,424</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>38,145,013</b>	<b>45,875,017</b>	<b>19,952,087</b>	<b>0</b>	<b>103,972,117</b>	
<b>資産合計</b>	<b>439,761,834</b>	<b>215,227,632</b>	<b>53,054,242</b>	<b>0</b>	<b>708,043,708</b>	
<b>II 負債の部</b>						
<b>1. 流動負債</b>						
未払金	5,055,782	8,800	4,410,062		9,474,644	
仮受金	383,087,792	7,836,000	4,941,620		395,865,412	
預り金	0	98,941	456,356		555,297	
賞与引当金	3,889,443	379,458	474,322		4,743,223	
<b>流動負債合計</b>	<b>392,033,017</b>	<b>8,323,199</b>	<b>10,282,360</b>	<b>0</b>	<b>410,638,576</b>	
<b>2. 固定負債</b>						
退職給付引当金	30,359,120	2,961,866	3,702,331		37,023,317	
<b>固定負債合計</b>	<b>30,359,120</b>	<b>2,961,866</b>	<b>3,702,331</b>	<b>0</b>	<b>37,023,317</b>	
<b>負債合計</b>	<b>422,392,137</b>	<b>11,285,065</b>	<b>13,984,691</b>	<b>0</b>	<b>447,661,893</b>	
<b>III 正味財産の部</b>						
<b>1. 指定正味財産</b>						
<b>指定正味財産合計</b>	<b>5,133,334</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,133,334</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 5,133,334)	( 0)	( 0)		( 5,133,334)	
<b>2. 一般正味財産</b>						
<b>一般正味財産合計</b>	<b>12,236,363</b>	<b>203,942,567</b>	<b>39,069,551</b>	<b>0</b>	<b>255,248,481</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 42,720,042)	( 16,000,000)		( 58,720,042)	
<b>正味財産合計</b>	<b>17,369,697</b>	<b>203,942,567</b>	<b>39,069,551</b>	<b>0</b>	<b>260,381,815</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>439,761,834</b>	<b>215,227,632</b>	<b>53,054,242</b>	<b>0</b>	<b>708,043,708</b>	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が217,888,614円ある。

## 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
特定資産運用益	1,600	8,134	△ 6,534	
特定預金受取利息収益	1,600	8,134	△ 6,534	
受取入会金及び会費	3,220,000	3,240,000	△ 20,000	
受取入会金及び会費	3,220,000	3,240,000	△ 20,000	
事業収益	110,850,719	87,478,834	23,371,885	
登録料収益	44,665,400	35,727,000	8,938,400	
指導者資格認定試験料収益	3,577,500	2,443,700	1,133,800	
乗馬技能認定料収益	46,911,700	37,636,500	9,275,200	
参加料収益	6,987,000	5,714,000	1,273,000	
再貸付事務手数料収益	1,358,369	2,105,324	△ 746,955	
資格認定テキスト収益	7,350,750	3,852,310	3,498,440	
受取補助金等	689,089,792	669,506,859	19,582,933	
乗馬普及事業助成金	679,209,892	662,725,878	16,484,014	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	1,760,000	0	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,447,900	2,319,981	1,127,919	
スポーツ振興くじ助成金	4,672,000	2,701,000	1,971,000	
雑収益	2,791,597	4,588,073	△ 1,796,476	
受取利息収益	2,967	7,633	△ 4,666	
雑収益	2,788,630	4,580,440	△ 1,791,810	
<b>経常収益計</b>	<b>805,953,708</b>	<b>764,821,900</b>	<b>41,131,808</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	770,310,931	740,121,788	30,189,143	
役員報酬	6,446,808	5,355,000	1,091,808	
給与手当	50,049,585	51,958,604	△ 1,909,019	
社会保険料	9,765,943	9,614,748	151,195	
福利厚生費	713,116	718,610	△ 5,494	
馬とのふれあい補助費	43,230,600	36,069,860	7,160,740	
乗用馬保健衛生補助費	30,526,753	30,411,514	115,239	
乗馬施設整備補助費	480,056,537	491,716,215	△ 11,659,678	
競技会奨励費及び賞品費	31,544,794	19,496,900	12,047,894	
会議及び講習会費	22,960,564	20,481,204	2,479,360	
旅費交通費	35,864,942	20,186,645	15,678,297	
従事員賃金	9,143,923	8,902,519	241,404	
広報費	8,405,555	8,536,568	△ 131,013	
備品及び借料費	10,773,485	10,781,212	△ 7,727	
減価償却費	2,401,816	2,295,662	106,154	
消耗品費	1,070,661	577,199	493,462	
図書印刷製本費	8,685,544	6,411,630	2,273,914	
通信費	2,496,759	2,628,623	△ 131,864	
光熱及び水料	401,317	313,009	88,308	
役務費	5,211,548	3,200,922	2,010,626	
租税公課	3,680,891	3,132,380	548,511	
雑費	2,873,971	2,968,857	△ 94,886	
退職給付費用	3,811,485	4,177,987	△ 366,502	
賞与引当金繰入	194,334	185,920	8,414	
管理費	10,325,915	10,570,487	△ 244,572	
役員報酬	716,312	595,000	121,312	
給与手当	5,561,287	5,773,179	△ 211,892	
社会保険料	1,085,105	1,068,305	16,800	
福利厚生費	79,235	79,846	△ 611	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
会議及び講習会費	114,385	22,625	91,760	
旅費交通費	237,663	327,763	△ 90,100	
従事員賃金	283,285	192,275	91,010	
備品及び借料費	719,646	1,019,969	△ 300,323	
減価償却費	50,464	41,756	8,708	
消耗品費	46,672	42,500	4,172	
図書印刷製本費	100,605	84,505	16,100	
通信費	238,048	256,833	△ 18,785	
光熱及び水料	40,222	34,779	5,443	
役務費	380,387	353,825	26,562	
租税公課	3,555	2,320	1,235	
雑費	223,954	190,128	33,826	
退職給付費用	423,498	464,221	△ 40,723	
賞与引当金繰入	21,592	20,658	934	
<b>経常費用計</b>	<b>780,636,846</b>	<b>750,692,275</b>	<b>29,944,571</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>25,316,862</b>	<b>14,129,625</b>	<b>11,187,237</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>25,316,862</b>	<b>14,129,625</b>	<b>11,187,237</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	282,629	0	282,629	
経常外費用計	282,629	0	282,629	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 282,629</b>	<b>0</b>	<b>△ 282,629</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>25,034,233</b>	<b>14,129,625</b>	<b>10,904,608</b>	
一般正味財産期首残高	230,214,248	216,084,623	14,129,625	
一般正味財産期末残高	255,248,481	230,214,248	25,034,233	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 1,760,000</b>	<b>△ 1,760,000</b>	<b>0</b>	
指定正味財産期首残高	6,893,334	8,653,334	△ 1,760,000	
指定正味財産期末残高	5,133,334	6,893,334	△ 1,760,000	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>260,381,815</b>	<b>237,107,582</b>	<b>23,274,233</b>	

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	合計	備考	
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業	共通				小計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>									
<b>1. 経常増減の部</b>									
<b>(1) 経常収益</b>									
特定資産運用益	581	581	0	699	0	699	320	1,600	
特定預金受取利息収益	581	581	0	699	0	699	320	1,600	
受取入会金及び会費	1,610,000	1,610,000	0	0	0	0	1,610,000	3,220,000	
受取入会金及び会費	1,610,000	1,610,000	0	0	0	0	1,610,000	3,220,000	
事業収益	64,826,950	64,826,950	44,665,400	1,358,369	0	46,023,769	0	110,850,719	
登録料収益	0	0	44,665,400	0	0	44,665,400	0	44,665,400	
指導者資格認定試験料収益	3,577,500	3,577,500	0	0	0	0	0	3,577,500	
乗馬技能認定料収益	46,911,700	46,911,700	0	0	0	0	0	46,911,700	
参加料収益	6,987,000	6,987,000	0	0	0	0	0	6,987,000	
再貸付事務手数料収益	0	0	0	1,358,369	0	1,358,369	0	1,358,369	
資格認定テキスト収益	7,350,750	7,350,750	0	0	0	0	0	7,350,750	
受取補助金等	677,798,612	677,798,612	3,090,605	1,854,364	0	4,944,969	6,346,211	689,089,792	
乗馬普及事業助成金	667,918,712	667,918,712	3,090,605	1,854,364	0	4,944,969	6,346,211	679,209,892	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	1,760,000	0	0	0	0	0	1,760,000	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,447,900	3,447,900	0	0	0	0	0	3,447,900	
スポーツ振興くじ助成金	4,672,000	4,672,000	0	0	0	0	0	4,672,000	
雑収益	2,292	2,292	140	255	0	395	2,788,910	2,791,597	
受取利息収益	2,292	2,292	140	255	0	395	280	2,967	
雑収益	0	0	0	0	0	0	2,788,630	2,788,630	
<b>経常収益計</b>	<b>744,238,435</b>	<b>744,238,435</b>	<b>47,756,145</b>	<b>3,213,687</b>	<b>0</b>	<b>50,969,832</b>	<b>10,745,441</b>	<b>805,953,708</b>	
<b>(2) 経常費用</b>									
事業費	760,755,417	760,755,417	6,430,451	3,125,063	0	9,555,514	—	770,310,931	
役員報酬	5,873,758	5,873,758	358,156	214,894	0	573,050	—	6,446,808	
給与手当	45,600,815	45,600,815	2,780,444	1,668,326	0	4,448,770	—	50,049,585	
社会保険料	8,897,859	8,897,859	542,552	325,532	0	868,084	—	9,765,943	
福利厚生費	649,727	649,727	39,618	23,771	0	63,389	—	713,116	
馬とのふれあい補助費	43,230,600	43,230,600	0	0	0	0	—	43,230,600	
乗用馬保健衛生補助費	30,526,753	30,526,753	0	0	0	0	—	30,526,753	
乗馬施設整備補助費	480,056,537	480,056,537	0	0	0	0	—	480,056,537	
競技会奨励費及び賞品費	31,544,794	31,544,794	0	0	0	0	—	31,544,794	
会議及び講習会費	22,960,564	22,960,564	0	0	0	0	—	22,960,564	
旅費交通費	35,411,301	35,411,301	382,342	71,299	0	453,641	—	35,864,942	
従業員賃金	8,552,434	8,552,434	506,503	84,986	0	591,489	—	9,143,923	
広報費	8,405,555	8,405,555	0	0	0	0	—	8,405,555	
備品及び借料費	10,197,508	10,197,508	360,023	215,954	0	575,977	—	10,773,485	
減価償却費	2,361,444	2,361,444	25,232	15,140	0	40,372	—	2,401,816	
消耗品費	1,028,967	1,028,967	27,692	14,002	0	41,694	—	1,070,661	
図書印刷製本費	7,990,379	7,990,379	664,983	30,182	0	695,165	—	8,685,544	
通信費	2,229,044	2,229,044	196,301	71,414	0	267,715	—	2,496,759	
光熱及び水料	369,140	369,140	20,111	12,066	0	32,177	—	401,317	
役員費	4,907,239	4,907,239	190,193	114,116	0	304,309	—	5,211,548	

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業	共通				
					小計				
租税公課	3,678,046	3,678,046	1,778	1,067	0	2,845	—	3,680,891	
雑費	2,633,208	2,633,208	111,977	128,786	0	240,763	—	2,873,971	
退職給付費用	3,472,686	3,472,686	211,749	127,050	0	338,799	—	3,811,485	
賞与引当金繰入	177,059	177,059	10,797	6,478	0	17,275	—	194,334	
管理費	—	—	—	—	—	—	10,325,915	10,325,915	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	716,312	716,312	
給与手当	—	—	—	—	—	—	5,561,287	5,561,287	
社会保険料	—	—	—	—	—	—	1,085,105	1,085,105	
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	79,235	79,235	
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	114,385	114,385	
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	237,663	237,663	
従事員賃金	—	—	—	—	—	—	283,285	283,285	
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	719,646	719,646	
減価償却費	—	—	—	—	—	—	50,464	50,464	
消耗品費	—	—	—	—	—	—	46,672	46,672	
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	100,605	100,605	
通信費	—	—	—	—	—	—	238,048	238,048	
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	40,222	40,222	
役員費	—	—	—	—	—	—	380,387	380,387	
租税公課	—	—	—	—	—	—	3,555	3,555	
雑費	—	—	—	—	—	—	223,954	223,954	
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	423,498	423,498	
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	21,592	21,592	
<b>經常費用計</b>	<b>760,755,417</b>	<b>760,755,417</b>	<b>6,430,451</b>	<b>3,125,063</b>	<b>0</b>	<b>9,555,514</b>	<b>10,325,915</b>	<b>780,636,846</b>	
<b>評価損益等調整前当期經常増減額</b>	<b>△ 16,516,982</b>	<b>△ 16,516,982</b>	<b>41,325,694</b>	<b>88,624</b>	<b>0</b>	<b>41,414,318</b>	<b>419,526</b>	<b>25,316,862</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期經常増減額</b>	<b>△ 16,516,982</b>	<b>△ 16,516,982</b>	<b>41,325,694</b>	<b>88,624</b>	<b>0</b>	<b>41,414,318</b>	<b>419,526</b>	<b>25,316,862</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>									
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用	282,629	282,629	0	0	0	0	0	282,629	
固定資産除却損	282,629	282,629	0	0	0	0	0	282,629	
<b>経常外費用計</b>	<b>282,629</b>	<b>282,629</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>282,629</b>	
<b>当期經常外増減額</b>	<b>△ 282,629</b>	<b>△ 282,629</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 282,629</b>	
<b>他会計振替前当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 16,799,611</b>	<b>△ 16,799,611</b>	<b>41,325,694</b>	<b>88,624</b>	<b>0</b>	<b>41,414,318</b>	<b>419,526</b>	<b>25,034,233</b>	
他会計振替額	20,643,114	20,643,114	△ 21,643,114	320,816	0	△ 21,322,298	679,184	0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>3,843,503</b>	<b>3,843,503</b>	<b>19,682,580</b>	<b>409,440</b>	<b>0</b>	<b>20,092,020</b>	<b>1,098,710</b>	<b>25,034,233</b>	
一般正味財産増減額	8,392,860	8,392,860	139,538,793	44,311,754	0	183,850,547	37,970,841	230,214,248	
一般正味財産期首残高	12,236,363	12,236,363	159,221,373	44,721,194	0	203,942,567	39,069,551	255,248,481	
一般正味財産期末残高	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
指定正味財産増減額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
指定正味財産期首残高	6,893,334	6,893,334	0	0	0	0	0	6,893,334	
指定正味財産期末残高	5,133,334	5,133,334	0	0	0	0	0	5,133,334	
指定正味財産期首残高	17,369,697	17,369,697	159,221,373	44,721,194	0	203,942,567	39,069,551	260,381,815	
指定正味財産期末残高									

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

なし。

### 4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	32,788,334	4,234,983		37,023,317
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	42,040,857	679,185	0	42,720,042
ソフトウェア	6,893,334	0	1,760,000	5,133,334
合 計	97,722,525	4,914,168	1,760,000	100,876,693

### 5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	37,023,317	0	0	37,023,317
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	42,720,042	0	42,720,042	0
ソフトウェア	5,133,334	5,133,334	0	0
合 計	100,876,693	5,133,334	58,720,042	37,023,317

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備 品	5,422,266	2,753,033	2,669,233
ソフトウェア（その他固定資産）	2,298,150	2,243,967	54,183
ソフトウェア（特定資産）	8,800,000	3,666,666	5,133,334
電話加入権	372,008	0	372,008
合 計	16,892,424	8,663,666	8,228,758

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本中央競馬会 助成金	日本 中央 競馬会	0	104,157,380	104,157,380	0	
競馬振興特別助成金 【3項④】 被災地支援等のための 馬とのふれあい活動事 業	日本 中央 競馬会	0	32,958,800	32,958,800	0	
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	268,600,534	522,847,049	415,408,916	376,038,667	流動負債
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	6,893,334	0	1,760,000	5,133,334	指定正味財産
競馬振興特別助成金 【3項⑥】 民間における乗馬普及 体制持続化特別支援事 業	日本 中央 競馬会	113,576,300	0	113,576,300	0	
競馬振興特別助成金 【3項①】 馬の多様な利活用を推 進する講習会開催等事 業	日本 中央 競馬会	0	13,214,364	13,214,364	0	
競馬振興特別助成金 【3項②】 障がい者乗馬・ホース セラピー活動等を支援 するための事業	日本 中央 競馬会	0	181,527	181,527	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
競馬振興特別助成金 【3項③】 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業	日本中央競馬会	0	46,736,252	46,736,252	0	
畜産振興事業助成金 【4項】 乗用馬防疫推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	30,526,753	30,526,753	0	
畜産振興事業助成金 【4項】 馬の流通に係る調教技術向上推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	3,447,900	3,447,900	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	4,672,000	4,672,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	1,760,000
合 計	1,760,000

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	37,023,317
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	37,023,317

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,234,983
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,234,983

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

## 付 属 明 細 書

### 1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,527,297	4,743,223	4,527,297	0	4,743,223
退職給付引当金	32,788,334	4,234,983		0	37,023,317

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

**財産目録**  
令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
<b>現金 預金</b>	手元保管	運転資金として	<b>108,829</b>	
	普通預金		<b>294,256,724</b>	
	三菱UFJ銀行 本店 (4口座)	運転資金として	248,582,648	
	三井住友銀行 経堂支店 (4口座)	"	43,700,700	
	三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	"	1,973,376	
	定期預金		<b>60,000,000</b>	
	三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60,000,000	
	<b>未収金</b>	日本中央競馬会からの助成金	乗馬普及事業の補助金の未収分	3,072,553
		健康保険・厚生年金保険料の自己負担分	法人会計管理費の未収分	65,243
	<b>仮払金</b>	次年度執行分の補助金 24団体	乗馬普及事業の事業費	<b>239,294,610</b>
	次年度事業にかかる傷害保険料等	"	1,278,110	
	備品のレンタル料	法人会計管理費	16,500	
<b>貯蔵品</b>	「レッツエンジョイライディング」等のテキスト類 9,756冊	乗馬普及事業のテキストの在庫	<b>7,273,632</b>	
	ポニーライダー技能認定の認定バッジ 653個	乗馬普及事業の認定バッジの在庫	1,030,080	
<b>流動資産合計</b>			<b>604,071,591</b>	
<b>(固定資産)</b>				
<b>特定資産</b>				
<b>退職給付引当資産</b>	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役員に対する退職金の支払に備えた預金	<b>37,023,317</b>	
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	12,023,317	
	<b>乗馬振興事業特別積立資産</b>	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	<b>16,000,000</b>	
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店		16,000,000	
	<b>再貸付事業積立資産</b>	乗馬施設活性化事業の借入れ物件に対する保障の積立預金	<b>42,720,042</b>	
	普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店		14,492,791	
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	28,227,251	
	<b>ソフトウェア</b>	乗馬普及事業の総合業務システム	公益目的保有財産として5,133,334円のソフトウェアを使用している。	<b>5,133,334</b>
	<b>その他 固定資産</b>	<b>備品</b>	事務所パソコン及び什器類 12件	<b>2,669,233</b>
		<b>ソフトウェア</b>	乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 5件	<b>54,183</b>
	<b>電話加入権</b>	5回線分	<b>372,008</b>	
<b>固定資産合計</b>			<b>103,972,117</b>	
<b>資産合計</b>			<b>708,043,708</b>	
<b>(流動負債)</b>				
<b>未払金</b>	通信費、印刷費、旅費、地区への共催金等 16件	乗馬普及事業の事業経費	<b>9,474,644</b>	
	臨時従事員への3月分給与	"	2,304,862	
	消費税	消費税納税分	658,120	
	証明書発行手数料等 2件	乗馬施設活性化事業の事業経費	2,092,800	
	通信費、消耗品費等の事務管理費 19件	法人会計管理費等の3月の経費支払分	8,800	
	社会保険料	役員等に対する3月の社会保険料	2,667,858	
	給与手当等	職員・臨時従事員に対する3月分給与等	1,319,318	
	<b>仮受金</b>	乗馬指導者競技会等の次年度参加料等	乗馬普及事業の次年度収益分	422,886
		指導者登録料 653人	乗馬施設等登録事業の次年度登録料	<b>395,865,412</b>
		誤入金	返金予定分	817,568
	日本中央競馬会からの助成金	助成金未使用分の返還分	7,836,000	
	"	乗馬普及事業の次年度分	33,000	
	公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	助成金未使用分の返還分	4,941,620	
<b>預り金</b>	所得税	役員及び委員等に対する3月分所得税	376,038,667	
	住民税	役員に対する3月分住民税	6,198,557	
	乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	現金預かり分	<b>555,297</b>	
<b>賞与引当金</b>	職員に対する12~3月分の賞与分	職員に対する12~3月分の賞与分	206,856	
<b>流動負債合計</b>			<b>4,743,223</b>	
<b>固定負債</b>			<b>410,638,576</b>	
<b>退職給付引当金</b>	役員に対するもの	役員に対する退職金の支払に備えたもの	<b>37,023,317</b>	
<b>固定負債合計</b>			<b>37,023,317</b>	
<b>負債合計</b>			<b>447,661,893</b>	
<b>正味財産</b>			<b>260,381,815</b>	

# 監 査 報 告

令和4年5月13日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 武 宮 忠 彦 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之 ⑩

監 事 野 中 亮 一 ⑩

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。